

「第15回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

<p>Q. 【文化財に対する考え方】 松並木内に5つのモニュメント設置。「歩く道100選」に選ばれた知立の道。その道中の東海道松並木に設置されたモニュメントは、文化財には馴染まない。</p>	
1	<p>【都市計画課】 知立市では、街なかに彫刻やアートを設置することにより、市民が日常的にまちの中で芸術文化にふれあい、癒しや元気を感じることもできる彩のある風景を推進しています。 第6次総合計画においても、「彫刻のあるまちづくりの推進」として、「市内の名所や観光拠点においても、地域の風景や資源と調和させながらまちづくりにアートを取り入れ、観光活性化への貢献を図ります。」と、記述されております。 今回、松並木に設置した作品については、知立の歴史や文化をテーマに作家に依頼したものであり、松並木のもつ威厳と彫刻作品がお互いに相乗効果をなし、知立市のもつ観光資源のPRができることを期待しています。</p> <p>【文化課】東海道松並木に設置された彫刻は、知立の昔話など知立にまつわる歴史を題材に製作されています。また、彫刻設置場所の選定にあたっては、周囲の景観に配慮し松並木側ではなく明治用水緑道を挟んだ緑地へ設置されています。現代美術と歴史の融合による産物として、東海道松並木を歩く方々にも親しみを持っていただけたらと思います。</p>
	<p>回答所管課 都市計画課 文化課</p>

<p>Q. 【衣浦5市のミニバス相互乗入れについて】 消防以外は何にも見えてこない。ミニバスの相互乗入れを相談しては。衣浦東部広域連合は5市合併の円滑運営が目的であった。今は消防・救急のみ。運転免許証返納で安城市へ行かねばならない。足がないため、5市の間で共通で使えるバスを希望するが、今後が見えてこない。</p>	
2	<p>【まちづくり課】 コミュニティバスは地域住民の移動手段を確保するため、各自治体が民間の事業者運行を委託して、運行経費の大部分を自治体で補填しているという形式は各市とも同じですが、乗車料金・便数・路線密度・定期券や無料乗車条件等の考え方が違っており、自治体ごとに独自の取り組みを行なっています。そのため5市での共同運行は容易ではありませんが、知立市としては広域的な利用が少しでも出来るように、豊田市の三河八橋駅、刈谷市の東刈谷駅と野田新町駅に乗り入れており、東刈谷駅と野田新町駅では近隣市のコミュニティバスの利用が出来ます。今後も広域でのバス利用については、近隣市との意見交換等を継続しながら研究・検討していきたいと考えます。</p>
	<p>回答所管課 まちづくり課</p>

Q. 【逢妻浄苑の今後の方向性について】

休憩所はどうなっているか。今後、補修や維持費がかかる。財政を考えれば知立市でやることではない。

休憩所（待合室）は、本年の改修工事により和室から洋室となり10月1日から利用できるようになりました。また、浄苑の今後については、耐用年数を考慮しながら検討していきたいと考えます。

3

回答所管課

市民課